「東北インフラDX推進室」 設置式を開催　R6.5.24開催

国土交通省
東北地方整備局

国土交通省では、インフラを取り巻く状況を踏まえ、データとデジタル技術を活用したインフラ分野のDXを進めています。
一方、東北地方整備局でも、東北地域の建設業界の働き方改革を実現するため、既成概念にとらわれることなく、デジタル技術を効果的に活用した新たな働き方の創出を目指し取り組んでいるところです。これらの取組を強力に推進するため、今年度新たに**「東北インフラDX推進室」**が設置され、最先端のデジタル技術を活用した人材育成や新たな働き方に向けた環境整備、新技術の開発や導入促進に取り組んでまいります。

【設置式】

令和6年5月24日（金）インフラDX推進室設置式を行いました。設置式終了後、仙台河川国道事務所 仙台西国道維持出張所及び現場と中継を繋ぎ、DX化の取組紹介を行いました。
【設置式内容】
①訓示（局長）②挨拶（東北インフラDX推進室長）③看板除幕

－ 整備局長からの訓示 －

東北地方整備局では、業務のあらゆる分野において、デジタル技術を効果的に活用した新たな働き方を創出することで、職員一人一人が豊かさや幸せを実感できる職場づくりの実現を目指しているところです。
今回、これらの取組を強力に推進するため『東北インフラDX推進室』を設置しました。推進室の皆さんにはデジタル技術を活用した人材育成や新たな働き方に向けた環境整備、新技術の開発や導入促進に取り組んでいただきたいと思います。

看板除幕



【取組紹介】仙台河川国道事務所　仙台西国道維持出張所の取組み

多様化する出張所業務に対応していくため、業務の効率化・高度化と職員の働き方改革を目指し、仙台西国道維持出張所にて、**『情報伝達のスピードアップ』**及び**『デジタル機器を活用した道路管理業務の変革』**の2つを柱として、DX化（オフィス環境改善・各種情報機器の整備）を実施しました。

主なDX整備内容



執務室の環境改善

【整備事項】
・所長室と事務室間の壁の撤去（オープン化）
・机・椅子、袖机、書棚、受付カウンタ等の什器類の更新
・無線LANの設置　等



大型モニタ3面、タッチスクリーン・デジタルサイネージ等の情報表示機器の設置





【取組紹介】災害現場における簡単3次元化（デモンストレーション）

仙台西国道維持出張所管内の現場と中継を繋ぎ、現場写真からの3次元点群データ作成の一連の流れのデモンストレーションを行いました。このシステムは、職員自らが災害現場や工事現場において、**短時間の写真撮影**により、**写真から3次元点群データを生成**し、被災の程度や施工状況などの**情報を容易に取得**することが出来ます。

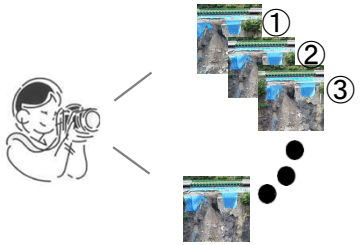
仙台西国道維持出張所とDXルーム　中継状況



中継

3次元点群データ生成流れ「点群生成ソフト」を使用

1 写真撮影（10～20枚程度）
※カメラ設定（ズーム機能など）は変更せず
※ラップ率（撮影間隔）は、概ね8割を目安に



2 PCに画像を取り込む

3 3次元点群データの完成

